

\*上記1～3の枚数バランスは自分で工夫してください。モノクローム、着彩、どちらでも結構です。どちらもやってみるといい。

\*画材や支持体も、いろいろ試してみてください。鉛筆、筆、パステル、クレヨン、ペン、割り箸ペンなど、それぞれの味わいを楽しもう。鉛筆・色鉛筆やパステルの場合は、必ずフィキサチーフをかけておくこと。

\*最初に「写真はダメ」みたいに書きましたが、練習方法としては有効な場合もあります。**30枚以外で、写真で構図の勉強や全体の明暗の把握などの練習**もしてみてください。自分で絵を描くつもりで写真を撮ってみるのも、構図の勉強になります。その場合、できるだけ大きめに引き延ばして見比べてみましょう。構図の善し悪しが見えてきます。

\*また、**とても大切で有効な練習方法として「模写」**があります。セザンヌ、ミレー、モネ、ワイエス、雪舟 etc、図書館に行けば実にさまざまな表現をたくさん見ることが出来ます。**見るだけでもいい！ いろいろな画家の風景画を見てください。** どう表現されているか。それらは、決して「写真みたいな絵」を目指していません。

\*実景を見る課題ですが、模写は必ずやった方がいいので3枚までカウントしてもいい。それ以上はプラスαでカウントしましょう。

\*部分の模写でも勉強になります。例えば水面や木漏れ日など（全体の構図も勉強した方がいいとは思いますが）。画材が違くと、そっくりには描けませんが、とても勉強になるはずですよ。

\*「水が描けるようになりたい」「樹の枝振りを自然に描きたい」「木漏れ日を描きたい」「雨の日の煙った風景や水たまりの水紋を描いてみたい」いろいろな場面を、近づいたり離れたり、いろいろな距離感で描いてみるのが大切。

\*「描けるようになる」喜びが、味わえますように。

■提出期限： 9月24日（月）17時まで

■提出場所： C棟1階 TAルーム（C105） TAさんに提出

■提出形態：

## 1. クロッキー

\*1枚1枚の右下に描いた順番に通し番号を付ける。1枚1枚を作品と考え、小さめにきれいにすっきりと。

\*思い入れのあるモノには、裏面（作品の一部としてならおもて面でも可）に日付やコメントを。

\*ベスト10枚全ての裏面に記名をして、「クロッキーベスト10」と「組・番号・氏名」と「感想コメント」を書いた表紙を付けて、ホッチキス止めして提出。

\*残りは、クロッキー帳のまま（必ず組・氏名を記入する）提出。複数冊になってもよい。

## 2. 風景写生

\*1枚1枚の裏面に描いた順番に通し番号と「組・番号・氏名」「どこの何を描いたか」「制作年月日」「制作時間」と、思い入れのあるモノには感想コメントをつけておこう。あとで、いろいろ役立ちます。直接書いてもいいけれど、紙の表に透けたりするし、キャンパスの場合などは、別紙に書いて貼り付ける方がいい。はがれないようにしっかり貼ってください。

\*ベスト10枚（B3サイズを含む）全ての裏面に記名をして、「風景写生ベスト10」と「組・番号・氏名」と「感想コメント」を書いた表紙を付けて上手にまとめて提出。袋に入れるなど。その場合、袋にも記名する。

\*残りも提出するが、クロッキー帳やスケッチブックがかさばる場合は、切り離して提出。必ず組・氏名を記入する。ベスト10とは別に、袋に入れて提出。袋にも必ず記名すること。